

# 田園理想郷

No. 3  
2020.2.1



今冬は暖冬で、降雪量が  
少ないようです。「降りな  
いほうがいい」「降ったほ  
うがいい」……真っ白い  
雪も、立場はグレイゾー  
ンかもしれません。



第6回議会12月定例会	2
一般質問	3~4
行政視察報告	5~6
議員研修会・議会広報研修会・議長研修会	7
町村議会議長全国大会・バンドフェスティバル激励	8
全員協議会・議会の動き	9
村や議会のこんなことあんなこと	10
10人からのメッセー辞	11
ぼいす・お知らせ・編集後記	12

# 第6回議会 12月定例会

12月6日(金)～12日(木)

12月定例会は7日間の日程で開催され、条例改正5件をはじめ、令和元年度補正予算、工事請負契約の締結、専決処分承認などが審議され、いずれも原案通り決定しました。

## ■人事

- ・人権擁護委員候補者に宮内栄子氏が任命されました。(天神 66歳 再任)  
村長から候補者の推薦について意見を求められ、全員賛成で適任と認めました。  
任期は令和2年4月1日から3年間です。(全員賛成)

## ■条例

- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例  
議会議員の期末手当を年間0.05月引き上げる条例改正 (全員賛成)
- ・特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例  
村長・副村長・教育長の期末手当を年間0.05月引き上げる条例改正 (全員賛成)
- ・川場村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
民間給料との格差を埋めるため行政職の給料表を平均0.1%引き上げ、勤勉手当を年間0.05月引き上げる条例改正 (全員賛成)
- ・特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
地方公務員法の改正に伴い、区長、交通指導員、社会教育指導員、青少年育成指導推進員、語学指導助手、母子保健推進員、歴史民俗資料館長、地域おこし協力隊員が非常勤特別職から除外されます。  
また、スポーツ推進員の報酬を年額4万1千円から6万円に引き上げる条例改正 (全員賛成)
- ・川場村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
放課後児童支援員は、県知事が行う研修を修了したものでなければならなかったが、指定都市の長が行う研修を修了したものでも資格が与えられること

となりました。また、「みなし支援員」に係る経過措置を1年延長する条例改正 (全員賛成)

## ■補正予算

- ・令和元年度川場村一般会計補正予算(第3号)  
歳入歳出それぞれ815万8千円を追加し総額を33億2千17万7千円とするものです。(全員賛成)

## ■その他

- ・群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議  
川場村菅上宿原土地改良事業(区画整理)計画  
事業期間は令和2年度から令和4年度まで  
工事期間は令和3年4月から12月の予定  
総事業費 9千500万円
- ・工事請負契約の締結(令和元年度社会資本総合整備事業(総合) 村道谷地生品線(仮称) 姥堂大橋 橋梁上部工製作・架設工事)  
(仮称) 姥堂大橋の橋梁上部工製作・架設工事を古河産機システムズ(株)と4億6千750万円契約するものです。(全員賛成)
- ・工事請負契約の変更(平成30年度補助公共社会資本総合整備事業(総合) 村道谷地生品線橋梁A1橋台・補強土壁建設工事)  
盛土を実施するにあたり、良質な建設残土が入手できなかったため、購入土に変更したことにより1億9千8万円から1億9千587万7千円に変更とするものです。(全員賛成)

## ■専決処分

- ・専決処分の承認(川場村税条例の一部改正)  
軽自動車税の環境性能割の賦課徴収の特例を整備した改正 (全員賛成)



## 川場村のSDGsへの 考えと取り組みについて

**黒田議員** 「持続可能な開発目標」SDGsは2030年までに「誰ひとり取り残さない社会の実現」を目指し、持続可能な世界の達成を目指す17の目標と、それを達成するための具体的な169のターゲットと232の指標で構成されていて、地方自治体や民間企業で政策や事業に取り入れる動きが活発化しています。

群馬県も、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、官民連携を進め、SDGsを推進しています。川場村の考えと取り組みについて伺います。

**村長** 私が村長就任当時より進めている「全村民幸福の村」は、言葉は違えどもSDGs持続可能な開発目標そのものと理解をしています。産学官連携による木質バイオマスによる再生可能エネルギーの振興、森林環境産業の活性化、グローバル人材の育成など、新しい価値の創出を通して持続可能な開発を実現し、農業プラス観光に森林環境を合わせた地域づくりをさらに一層推進してまいります。

す。

国の掲げる17の国際目標は、広範にわたり、全てが川場村に合致するものではありませんが、川場村としての取り組みができるものから順次取り組んでいくとともに、現在実施されているものについては、さらに深化をさせていくべきものと捉えています。

**黒田議員** SDGsが国連総会で採択されたのは2015年9月です。最近では新聞やテレビなどで見聞きすることも多くなりしましたが、まだまだ認知度は低いと思います。SDGsの認知度を上げる方策はどのように考えていますか。

**村長** 国や政府による広報等だけでなく、認知度を高めることも必要だと思えますが、川場村では事業を実践し、成果を上げていくことが肝要かと思えます。川場村の取り組みを国や政府に提案する場面に遭遇したならば、率先して川場村の現状を伝えていきたいと考えています。

**黒田議員** 来年度からは小学校で、再来年度からは中

学校の学習指導要領にSDGsが加わると聞きました。まさに子供たちにとってSDGsは未来をつくる指標にもなるのではないかと思います。小・中学校でのSDGs持続可能な社会の作り手としての育成、あるいは啓発はどのようなお考えでしょうか。

**教育長** 本村においては、平成28年3月の川場村総合教育会議において「川場村ふるさと人材育成構想」を策定し、現在、小・中学校の9年間を通して具体的な実践を進めています。これは、ふるさとに強い愛着心を持ち、みずからの力で村を支えていこうとする意欲や志を持つとともに、ふるさとに軸足を置きながら世界でも活躍できるグローバル人材を育成することを目的としています。これは自分たちの住む身近な地域において、広くはこの地球上において生きていくことを困難にするような課題について、人ごとではなく、自分のこととして捉え、果敢に立ち向かい、みずから考え判断し、仲間とともに英知を出し合いながら解決していこうとする意欲や能力を育成することを目指すものでありまして、SDGsの掲げる目標と基本的には同じものであると理解し、本村においては新学習指導要領に即した小中一貫教育による本村独自の「川場村ふる

さと人材」の育成の徹底を図ることにより、持続可能な社会の作り手としての基礎的な資質や能力について育成することができると考えています。

**黒田議員** 川場村ではエネルギー問題等、既に事業の中でこのSDGsに合致する部分が多いと感じています。そこで、このSDGsの認知度を上げるために各部署や各事業に対応するSDGsの目標マークなどを表示するなどして、村民全体でそれを意識できるようにするのは。

**村長** 私は今、森林組合長を兼務していますので、ヒノキの間伐材を使ったSDGsのバッチをつけています。各部署、分野におきまして、そういった目標を掲げるということは必要ですので、今後前向きに検討してまいりますと思います。

**黒田議員** 人口減少や高齢化問題、担い手不足や医療や福祉、教育、さまざまな問題に対応するための、その一つの切り口としてSDGsの活用は課題解決だけでなく、課題発掘の手段としても有効な活用ができるのではないかと思います。持続可能な社会の実現に向けての取り組みが行われていくことを期待します。



## 労働力不足に対して 村はどのような策を講じているか

### 新木議員

高齢化による問題の一つに労働力の不足があります。村が支援をしていることはわかりますが、現実の状況は深刻化するばかりです。

実例をいくつかあげてみます。

一人住まいだったAさんは数年前に施設に入居しました。庭の雑草処理に親戚などを頼っていましたが、回を重ねると頼みにくくなりますし、頼まれる側も重荷になってきます。施設に入る前は近所の方が雪かきをしていましたが、手伝う側も、自分の家の雪かきだけで手いっぱいという状況です。

Bさんは農地を所有していますが、事情があって耕作していません。しかし、畑を荒らしたくないので草刈りはしています。

また、これは複数の方から聞いたことですが、村が除雪した雪が道路と家との接続部分をふさいでしまします。高齢者にとっては、この雪をどかす作業でさえ大変困難です。

コンニャクを栽培しているCさんは人手不足に悩み、村外にまで人手を求めています。コンニャクに限ったことではなく、稲作など

でも同様で、田植え機やコンバインを持っていない中小の農業者は他者の労働力を頼っています。川場村は農業プラス観光を前面に打ち出しているわけですから、農家の支援にも力を注いでいただきたいと考えます。

このような個人的問題は当事者個人の責任で解決・解消すべきであるというところは重々承知していますが、やはり、村としても何らかの形で支援してほしいと願うものです。ますます厳しさを増す労働力不足に対し、村としてどのような対策をとっているか、また、今後さらなる対策を考えているかお尋ねいたします。

### 村長

少子高齢化に伴う労働力不足は否めませんが、自助・共助・公助により、難題を克服していかなければなりません。まず、地域住民の方々には、一人が豊かな生活を送るための努力をお願いしなければなりません。ボランティアだけで解決するものではないと考えています。沼田市におきましては、シルバー人材センター等、有償での部署があり、登録をさせていただいて、先ほどの

事例のような草刈りをしたりしています。これは望ましいことで、川場村としてもそういった機関が将来的にできれば、対策が講じられるかと考えています。

### 新木議員

答弁にもありましたが、私が要望するのが、その人材バンクです。大がかりな労力の提供はできなくても小規模なら働けるという方がいるのではないかと、そういう方の時間や力を活用できないかということですね。例えば、週に2日とか3日とか、あるいは午後からなら毎日何時間程度働けるとか、また、まったく不規則けれども時間はとれるし、ある程度の力仕事はできるというような方の力を活用するということです。

役場に事務局を設けて登録してもらい、労働力を求めている方々と相談していただくという方法です。村はまったく金を出すことなく、仲介役として動いてもらうだけです。報酬も含めて、詳細は当事者間で決めてもらう、そんな方法です。報酬が発生するのでボランティアとは異なります。この方法ですと農作業を初め、草刈りも

雪かきも、買い物でも何でもできると思っています。働ける方には収入になり、依頼する側には労働力の確保につながります。こういった考え方も支援方法の一つであると思えますが、いかがでしょうか。

### 村長

そういった形で村内住民の方がわずかな時間でもいろいろな形で協力できる人材バンクが、提供できればいいことは承知していますが、そういった部署を役場の中に置くのがいいか、外郭の団体に委託するのがいいかは検討してまいります。

農家も、労働力が必要な時期は短期間であり、ほかと重複することです。ですので、そういったところを集約した中で、できることが川場村にとっても非常に必要なことであると考えていますので、関係機関と協力をしながら、また、相談をして、前向きに検討してまいります。

### 新木議員

前向きな答弁をいただきました。一歩前進したかなという気持ちですが、ぜひ実現していただきたいと思えます。私は、土地や村民は、村の細胞や臓器のようなものだと思います。村の細胞や臓器が元気であれば、タフで美しい村づくりはできません。支援の対策を講じていただくことを希望します。

# 総務文教常任委員会



阿智村の説明を傾聴する委員

## ～行政視察報告～

### ◆ 視察の期日

令和元年11月26日(火)～27日(水)

### ◆ 視察の場所

- ① 長野県阿智村
- ② 長野県下條村

### ◆ 視察の目的

- ① 子育て支援と定住支援対策について
- ② 少子化対策と行政改革について

## ■ 視察の概要

- ① 阿智村は、長野県下伊那郡の西部に位置する村で医療・福祉・教育等各機関が一体となり18歳までの子育てを、包括的に支援して若者の定住支援に対しても充実した村です。
- ② 下條村は、全国的にもいちちはやく少子化対策や、行政改革に取り組んでいる村として国・県また、地方自治体からの視察が多く「奇跡の村」と呼ばれている。

## ■ 視察の結果

- ① 子育て支援センターが今年の4月に開所されて以来、充実した支援がなされ村民の温かい交流の場になっているようでした。定住支援対策としては、まず若者がこの村に残り家庭を持ち子どもたちに対して、安心して育てることが出来る支援や、環境整備が必要であると報告されましたが、川場村でも類似しているところがありますので、関係機関との連携強化を図りながら心豊かな村づくりを推進していきたいと思えます。

- ② 若者定住促進住宅を整備し、定住促進の就業先の斡旋や、地元企業との連携を保ちながら、少子化対策に取り組んでいるが、未永い効果を期待しているとの事です。

行政改革については、村職員の人員削減や、コストの面から公共下水道・集落排水でなく合併浄化槽を選択するなど様々な行政改革に取り組み、財政赤字から脱却した村として視察が絶えないそうです。川場村でも自主自立の村づくりのためにも行政組織や、関係機関の機構改革が必要ではないか！今回の行政視察で得たことを少なからず、むらづくりに活かしたいと思えます。

(総務文教常任委員会委員長 角田文雄)



# 産業振興常任委員会

## ～行政視察報告～

### ◆ 視察の期日

令和元年11月14日(木)～15日(金)

### ◆ 視察の場所

長野県白馬村

### ◆ 視察の目的

- ① 民宿再生事業の取組みについて
- ② 水稲の大規模生産の  
仕組みにについて
- ③ 6次産業化の取組みについて



民宿として再利用された古民家にて

## 少子高齢化に伴う

## 人口減少・空き家対策

産業振興常任委員は長野県白馬村にて民宿再生事業の取組みについて、視察勉強会を実施しました。各市町村において、少子高齢化により人口減少及び、空き家が増加しています。村当局においても同じで、策を検討し努力しています。白馬村では空き家対策として庄屋を改築利用し民家を改築民宿再生事業にて空き家対策をしています。観光客も増え、村の活性化に寄与し人口減少の歯止めにもなっています。宿泊場所の掃除は高齢者の収入元となりいきいきとした生活を送っています。議会議員は村民の為に努力し、村民の声を生かして村づくりに頑張っています。

## 水稲の大規模生産の仕組み

白馬村しろうま農場視察勉強会では高齢化により農業経営に支障が出て遊休地が多くなり対策のため水稲の大規模生産に取組み実行して、現在17年目になつているとのこと。耕作面積130ha、また、従業員は県外からの移住者で、人口増加や遊休地の解消に貢献しています。遊休地の解消・高齢化対策の一環として始め、様々な課題を解決しており、川場村においても高齢化等による遊休地が多く、解消に向けて勉強してきた事を生かし議員として貢献していきたいと思えます。

## 6次産業化の取組み

しろうま農場は水稲・大豆・蕎麦・ブルーベリー・野菜等130haと大規模生産をしていて、酒・地ビール・ジャム・ジュース・もち等に外部委託で加工し、



## 産業振興常任委員会は

最後に産業振興常任委員会は今後も勉強し、住みよい村づくりの為、全村民の為に全力で頑張つてまいりますのでよろしくお願ひいたします。

(産業振興常任委員会委員長 細谷市衛)



## 群馬県町村議会議員研修会



開催日：令和元年10月25日（金）  
場 所：吉岡町文化センター ホール

### 講演Ⅰ

演題 『新時代の自治体議会の姿』  
講師 東京大学名誉教授 大森 彌氏

### 講演Ⅱ

演題 『人生に効く脳科学～脳が創り出す  
男女のミゾ、人生の波』  
講師 (株)感性リサーチ 代表取締役  
黒川 伊保子氏

## 群馬県町村議会広報研修会

開催日：令和元年11月18日（月）  
場 所：前橋市・群馬県市町村会館 大研修室

講演 演題 『広報紙制作のスキルポイント』  
講師 グラフィックデザイナー 長岡 光弘氏

広報紙の制作にあたって「広報紙の媒体特性を知る」「広報紙の編集方針を決める」「編集方針を紙面企画・編集に活かす」の3点をポイントに講演をいただきました。また、本村議会の広報紙「田園理想郷時代No.1」のクリニックをしていただき、細かい点までアドバイスをいただきました。



広報クリニックのため新木委員長が概要説明

## 群馬県町村議会議長研修会

開催日：令和元年11月13日（水）  
場 所：東京都・グランドアーク半蔵門

講演 演題 『不良長寿のすすめ』  
講師 順天堂大学医学部免疫学特任教授 奥村 康氏

## 第63回 町村議会議長全国大会 (創立70周年記念大会)

令和元年11月13日(水)、東京・NHKホールにおいて、安倍内閣総理大臣・大島衆議院議長・山東参議院議長ほか多数の国会議員の先生方をお招きして、町村議会議長全国大会が行われました。

大会では、大会の意義を鮮明にするための宣言文を朗読した後、ご来賓の方々から祝辞をいただき、特に安倍総理大臣の祝辞では、「地域の元気がなくて、日本の再生なし。」「日本のふるさと、守るべきふるすとは、町村にこそある。」と町村に対する激励をいただきました。

議事では、令和2年度の国の予算編成対策として「東日本大震災からの復興」などの要望28件、「議会の機能強化及び多様な人材を確保するための環境整備に関する重点要望」14点、「東日本大震災等大規模災害からの復興及び災害対策に関する特別決議」「議会の機能強化及び多様な人材を確保するための環境整備に関する特別決議」が提案され、満場一致で決定しました。

また、第44回豪雪地帯町村議会議長全国大会が開催され、令和2年度豪雪地帯の振興に関する8件の要望事項が満場一致で決定されました。

(川場村議会議長 小菅秋雄)

## 第38回 全日本小学校バンドフェスティバルの激励

開催日：令和元年11月23日(土)

場 所：大阪城ホール

今年も大阪城ホールにおいて全日本小学校バンドフェスティバルが開催されました。連続9回目の出場を果たした川場小学校金管バンド「川場キッズ」の子ども達のために議会から角田宣治副議長と角田文雄総務文教常任委員長が激励に伺いました。

この大会のために毎日遅くまで練習を積み重ねた子ども達、総勢25人と少人数ながらも他の学校に負けない迫力で演奏してくれました。





## 全員協議会

令和元年12月4日（水）全員協議会を開催し、村長・副村長及び担当課長から次のとおり事前に説明を受け、本会議ではこれらについて慎重審議いたしました。

1. 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
2. 専決処分（川場村税条例の一部を改正する条例）
3. 川場村営上宿原土地改良事業（区画整理）計画
4. 工事請負契約の締結（令和元年度社会資本総合整備事業（総合）村道谷地生品線（仮称）姥堂大橋橋梁上部工製作・架設工事）
5. 工事請負契約の変更（平成30年度補助公共社会資本総合整備事業（総合）村道谷地生品線橋梁A1橋台・補強土壁建設工事）

## 議会の動き

### 11月

- 1日 利根実業高等学校創立100周年記念式典
- 3日 川場村文化祭表彰式  
利根沼田農業協同組合東部支店川会場農業祭
- 10日 テラス沼田オープン記念式典
- 11日 利根郡町村議会議長会定例会  
利根沼田広域圏整備組合定例議員協議会  
利根沼田学校組合議員協議会
- 12日 県関係国会議員と町村議会議長との意見交換会
- 13日 町村議会議長全国大会  
群馬県町村議会議長研修会  
川場村戦没者追悼式
- 14日 産業振興常任委員会行政視察 ～15日
- 18日 議会広報研修会
- 19日 町村議会議長と群馬県知事及び県議会議長との意見交換会
- 20日 利根沼田広域圏整備組合議会定例会
- 21日（株）田園プラザ川場取締役会
- 22日 全日本小学校バンドフェスティバル激励 ～23日
- 25日 議会運営委員会
- 26日 総務文教常任委員会行政視察 ～27日
- 28日 群馬県町村会創立100周年記念式典
- 29日 川場村スキー場安全祈願祭  
利根沼田広域圏整備組合監査

### 12月

- 4日 議会全員協議会
- 6日 第6回議会定例会（初日）  
川場村自治功労者選考委員会  
食へ歩きスタンプラリー抽選会

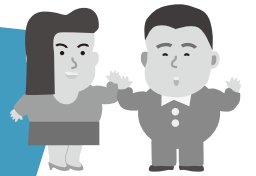
- 10日 富士山地域活性化協議会祝賀会
- 12日 第6回議会定例会（最終日）  
議会広報特別委員会
- 13日 川場村社会福祉協議会第3回理事会
- 15日（株）ニチネン川場事業所落成記念式典
- 20日 川場村廃棄物減量等推進審議会
- 23日 川場村社会福祉協議会評議員会
- 26日 川場村生活支援体制整備協議体会議

### 1月

- 8日 群馬県議会新春交流会  
上毛新聞社新年交歓会
- 11日 川場村消防団出初め式  
川場村新年祝賀式及び祝賀会
- 12日 世田谷区新年のつどい  
川場村成人式
- 13日 川場村剣道大会及び鏡開き  
どんど焼き
- 14日 利根沼田農業協同組合新年祝賀会
- 16日 ぽろ市視察及び世田谷区議会議員との交流会
- 17日 議会広報特別委員会
- 20日 利根郡町村議会議長会定例会  
利根沼田広域圏整備組合定例議員協議会  
利根沼田市町村新年懇話会
- 24日 慶祝訪問  
川場中学校立志式
- 27日 FMoze賀詞交換会

# 村や議会の こんなこと あんなこと

大きなことも小さなことも、わかりやすく平易にご説明します。



除雪作業は、村道の主要幹線道路は村で建設業者に委託していますが、そのほかの農道や生活道路などについては各地区ごとに、村民の除雪協力者の方をお願いしています。地区で除雪する範囲は地区によって異なります。

除雪する際の積雪量に明確な基準があるわけではありませんが、村としては、おおよそ10センチ程度になると作業を始めてもら

**除雪作業をする人は誰ですか？  
どのくらいの降雪量で除雪するの？**

自然が相手だから大変だよ

村が所有している除雪機は、ドーザー3台、グレーダー1台、ロータリー除雪車1台です。これらを除雪委託業者へ貸与して作業を依頼しています。



**村ではどんな除雪機を所有しているのですか？**

業者の方に委託している範囲については、当該道路の交通量や時間帯、その他実際の状況を考慮しながら進めてもらうようお願いしています。

村（総務課）では、小型の除雪機を各地区へ1台ずつ貸し出しています。扱いは各地区におまかせしていますので、詳細については区長さんなどにお問い合わせください。

なお、村が村民の皆さんへ直接貸し出すことは行っていません。

除雪機の手検や整備にもお金が必要で、1年間にだいたい180万円くらいですが、平成28年度の大雪時には約283万円もかかりました。

除雪協力者のトラクター整備代や燃料代、チェーン代、融雪剤（塩化カルシウム）購入費などもあり、これらが年間150万円から200万円かかります。



**なるほどね。経費もばかにならないね。どのくらいかかるんだろう。**

その冬の降雪量によってかなり差があります。

例をあげてみると、近年の業者への委託料では、平成30年度は約505万円、平成29年度は約825万円です。しかし、平成28年度には約1千522万円もかかりました。

本稿については田園整備課建設係に伺いました

村民の方からは、「除雪機がいた雪が敷地の出入口をふさいだ」「私の家の近くの道路は除雪の対象外だ」などの意見も寄せられることがあります。出入口の確保は各自に、地区で除雪する範囲は地区にお願いしているところですので、ご理解ください。よろしくお願いいたします。

悩みは費用だけじゃありません。アタマ、痛いな

# 10人からの メッセージ

順不同

## ●丸山敏雄

あけましておめでとございませう  
昨年、平成から令和へと新しい時代が訪れ、今年は東京オリンピックで感動と勇気を全国の人々に与えてくれるものと思えます。今年も村政、私生活ともにフル活動致します。



## ●星野孝之

りんごにブドウ、ブルーベリーなど、冬の雪のある間に川場村の果樹園では一斉に重要な剪定作業がはじまります。果樹生産者の知恵と努力に感謝しつつ、農業プラス観光を村民全体で盛り上げ応援していきたいですね。



川場村議会には10名の議員がいます。このコーナーでは各人の近況や主張などをお届けします。

メッセージの内容にはあえて公私の垣根も設けず、ジャンルも規定しません。少しでも身近に感じていただければ幸いです。

## ●角田文雄

村民の皆さん！こんにちは。まだまだ寒い日が続きますが、風邪などひかないように、うがいや手洗い、マスクなどで予防して下さい。人間、健康であることが一番の幸せかなと思います。村民の皆さん、川場村を、素晴らしいむらにしましょう。



## ●細谷市衛

剣道を通じて県内外の仲間に川場をアピールしてきた事が達成。群馬高齢剣友会は、川場で稽古懇親会と楽しく過ごし、全員が川場の良さを知り、年1回川場で開催する事に決めた。今後も川場の良さを、全国の仲間へ声かけして行く。



## ●角田宣治

昨年、米の収穫以後は体を動かす事がめっきり減って体重の維持も大変な時期です。役場の保健師さんのご指導により健康管理を実施していますが、集会場や地区内の用事には徒歩を心掛け、雪かきで運動不足解消につながればと思いいい汗流しています。



## ●津久井俊雄

「団塊の世代が引退する前に、農業の労働生産性は製造業の4分の1程度と低い。高齢化、農家の減少が進む中、先端技術を活用したスマート農業への取り組みが広がり始めた。田畑をさらに大きく再整備し、外国や他産業に負けない農業経営ができるよう行政は後押しを急いでほしい。」



## ●小菅秋雄

宮城県石巻市に落ちそうで落ちない「巨石」として受験生が合格祈願に訪れるそうである。川場村各地に愛宕神社がある、155の階段を登って神社の裏側に30トン程の巨石が今にも落ちそうに見える「落ちそうで落ちない巨石」である。この巨石の上に碑はあるが特に祭ってはいない、受験就職試験の時に願う事するのでもいいかも…



## ●飯塚貞次

身近にあるのに気がつかない、あるいは無視されているというものがある。生品には、地味だが興味深い自然の産物や、歴史的価値のある遺跡が多数ある。そういった「隠れた名物」に目を向け、日の目を見させてやろうかと思う。



## ●黒田まり子

プラスチックゴミによる海洋汚染が深刻です。でも便利な使い捨てプラスチックにあふれた生活の中でプラスチックフリーな暮らしは難しい。せめてレジ袋、ペットボトルはなるべく使わないから始める私の努力目標。



## ●新木敏郎

冬は嫌いだ。風邪もはやるし、エネルギー消費も増大して不経済だ。降雪や凍結によるマイナスも大きい。ところで、暖冬傾向に歯止めがかからない。暖かくなるのはいいが、やはり冬は冬らしくなければ自然界の帳尻が合わなくなる。私はひたすら春を待つ。





3

# 川場村に恋をして埼玉県から移住

子育てには最高の環境

佐藤将太さん(37) 谷地

私は、大学生の頃まで埼玉県岩槻市（現在のさいたま市岩槻区）に住んでいました。

大学時代に知り合ったスキーを通じて川場村に来ることがあり、その頃から川場村に住みたいと思うようになりました。

当時私が感じた川場村の魅力は

- ① 人が良い
- ② 水がうまい
- ③ 空が広い
- ④ 村作りがきれい



⑤ 災害に強そう  
ということでした。

今年で川場村に住んで9年目？くらいになりますが、当時感じたことは正しかったようで、住んでみてさらにポテンシャルの高さを知りました。

① 文化、教育レベルが高い  
いくつか例をあげるならば  
といつことです。

寺社仏閣、樹木、石など歴史的に価値のあるものが多数しかも綺麗に保存されています。

② 自然が大変素晴らしい  
武尊山は修験道の歴史を多数残し川場谷ではもろい岩が作った独特の趣があり

赤倉溪谷では一枚板の水路のような流れがあり  
鉾石山ではガーネット、トロッコの後

四季を感じる素晴らしい自然です。  
また、現在、妻の邦子、長男、優之介、二男、瑛二郎、三男、賢之進と家族にも恵まれ山登り、川歩きを家族でしますが、子育てをするには最高の環境だと思っています。

## お知らせ

### 議会を傍聴してみませんか

次回定例会は3月上旬です



議事堂出入口



むずかしい手続きなどは不要です。傍聴人入口で名前と住所を記入していただくだけです。

問 川場村役場 議会事務局  
52-2111

「川場村議会会議録」を川場村図書室で閲覧できます。お気軽にご覧ください。



## 編集後記

立春の候川場村でも令和二年を迎えて山紫水明のこの地に暦のうえでも春が近づいているような気がします。川場村議会広報も気持ちも新たに村民の皆様へ愛される広報誌として編集委員一同精進していきます。

三月になると小中学校の卒業式があり大きな夢と希望を持つ児童・生徒それぞれの活躍を期待したいものです。

村民の皆様の優しくも厳しい視線が、豊かなむらづくりを生みだしてゆくのだと思います是非あなたの声を聞かせてください。

(編集委員 角田文雄)



## 議会広報編集委員

委員長	新木 敏郎
副委員長	星野 孝之
委員	角田 文雄
委員	細谷 市衛
委員	飯塚 貞次
委員	小菅 秋雄